

## 人と自然が共存できる里山回復を目指した活動

### 植物も季節の流れが早い

梅雨入りしている沖縄や四国、近畿は平年より早く、5月16日に梅雨入りが発表されました。まだ梅雨入りしていない関東甲信や北陸、東北各地では、梅雨入りが足踏み状態、天気は、一時的に季節が逆戻りしたり、翌日は夏日になったり、その変化に翻弄されます。

林内は、枝先に小さな淡い青色や白色の花を多数つけ開花しているコアジサイ、半日陰の場所ではサイハイランが直立して開花、林縁には黄色に熟したモミジイチゴが実をたわわにつけています。



コアジサイ



コアジサイの花



美味しいモミジイチゴの果実

### 命をつなぐぐ田んぼの役割

早春の頃、冬期湛水の田んぼには、ヤマアカガエルが産卵して、孵化したオタマジャクシは変態して四肢が出て、尾が退化して5月中旬には小ガエルになった幼体が多数見られます。

田植えの準備が始まる頃、カエルの鳴き声が聞こえてきます。田んぼの畦の地中に泡で包まれた卵塊を産卵するシュレーゲルアオガエル。水面にせり出した、木の枝や草などに泡に包まれた卵塊を産卵するモリアオガエルなど、田んぼや湿地が保全されている場所では、多くの生き物が命をつなぐ活動を続けています。



田んぼの畦、ノカンゾウにモリアオガエル産卵



シュレーゲルアオガエルの地中泡巣が捕食される



水上の枝で休憩するモリアオガエル